

歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点
ーデント・メドミクスのインテリジェンスハブー

第10回GCOE海外研究者招聘講演会



講師： 遠藤 章 先生

(株)バイオフาร์ม研究所 代表取締役所長
国立大学法人 東北大学特任教授
国立大学法人 金沢大学客員教授

日時：平成20年11月26日(水)17:30～19:30
場所：5号館 4F 講堂

演題 「自然からの贈りもの—新薬スタチンの誕生」

高脂血症は心血管疾患を引き起こす強力なリスクファクターである。ところで日本における糖尿病患者は、ライフスタイルの欧米化にしたがって増加しており、現在では成人約6人に1人が糖尿病あるいは糖尿病予備軍である。糖尿病は、単独でも心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患を引き起こす強力なリスクファクターであるが、高脂血症や高血圧などを合併することで、さらにこのリスクが上昇することが明らかとなっており、血中コレステロール濃度を減少させることは、致命的な心血管疾患をできるだけ予防することにつながる。コレステロールの合成速度をつかさどるHMG-CoA還元酵素の働きを阻害すれば、血中コレステロール濃度の低下が期待できる。よってHMG-CoA還元酵素の阻害剤、いわゆるStatinはコレステロール低下剤の有力候補となる。遠藤先生はこれを研究テーマに定め、最初のStatinであるコンパクチンを青カビから発見しStatinの開発に取り組んだ。その後Statinは史上最大の新薬となり、つい先日、米国にて**アルバート・ラスカー医学研究賞**を受賞された。またStatinは血中コレステロール濃度を低下させるだけでなく、最近では骨組織に対する作用も明らかとなっており、硬組織における再生医療への可能性も期待できるところである。

本セミナーでは、Statinの発見・開発から今日に至るまでの基礎研究および臨床研究と、今後の展望などを御講演頂く。